

## モンテンルパの夜は明けて (10) ジョージ兄 (仮名) のお手紙から

MJCC の皆さま

今回もまた私たちのために生活に必要なものを送っていただき心から深く感謝いたします。

今回は小包を検査する方がとても厳しい方で日本語の書いてあるものは、馨先生の手紙、グレース新聞を含めすべて中に入れてもらえませんでした。検査はその時々によって検査をする方によって差があり、入れてくれる方もあれば、入れてくれない方もあり、その時の担当によって変わります。折角送っていただいたのに入れてもらえないととても残念ですが、仕方ありませんね！

私の方は、学校（フィリピン教育省で実施されている高校卒業資格試験制度—A.L.S—を用いて教育している所内の学校）も最終学期に入り、先月 1 月にはこれまでに学んだ全ての事に対するアチーブメントテスト（学力検査試験）があり、全科目で質問は 210 問あり、私の成績は 2 問間違いの 208 点、学年 1 番の首位で終わりました。その後、中間テストは全科目 100 点満点の成績をいただきうれしく思っています。また、本日から学期末試験に入りました。これも良い成績で終わることができるように一所懸命勉強している次第であります。この年、54 歳、にもなって満点だの成績一番などと言ってはしゃいで誠に恥ずかしい次第ですが、やはり、一所懸命にやった事をに対して正しい評価をしていただける事は、とてもうれしいものです。これからも学びに励んでいきたいと思っています。

また、家族については、今、私は自分の人生の中で一番苦しい状態の中で家族みんなが毎日を過ごしています。5 人の子供たちを養い、学校に行かせることは本当に大変なことです。ほんの小さな蓄えがなくなれば明日はどうやって暮らしていけば良いのであろうかといった現状です。その上、先月 1 月 25 日から母が病院に入院したきり、いまだに連絡もとれず精神的、経済的に不安定な毎日のはずなのに不思議と私の心には平安があります。以前の私でしたら、さあどうしよう、もう駄目だ！と言った不安が私の心を支配してただオロオロするだけの私だったのですが、今は不思議と平安を感じるのです。それはピリピ 4 : 6, 7 にあるように、「何も思い煩わないであらゆる場合に感謝をもってささげる祈りと願いによってあなた方の願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安があなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」まさに、このみ言葉が私の心に定住したからだと思います。そして、マタイ 8:26 にある「なぜ、こわがるのか、信仰の薄い者たちだ。」とイエス様が言われた言葉をはじめ、エレミヤ 33:3「私を呼べ、そうすれば私はあなたに答え、あなたの知らない理解を超えた大いなる事をあなたに告げよう。」マタイ 6 : 33「だから神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすればそれに加えてこれらのものはすべて与えられます。」その他、多くのみ言葉が私の心を支配しているために、私は平安を感じるのだと思います。

神様の愛は、信じることにより得られる体験だと思います。信じるとは、ただ口で言うことだけでなく、み言葉に信頼し、服従、そして、全てを明け渡すことだと思います。ところがこの全てを明け渡すという事が大変難しい事で、自分が無にならなければならない事だと思います。外の社会生活には、お金があり、職があり、地位、名声、権威、権力と言ったもの

があり、これらのものが邪魔をしてすべてを明け渡すことができにくいのですが、私は、刑務所の矯正生活下にあるために、これらのことを学ぶ事が出来たことを心から幸いに思い神様に感謝しています。そこに、私の心を平安にしているイエス様の愛があります。

ヨハネ 14:18「わたしはあなたがたを捨てて孤児にはしません。」また、ヨハネ 14:27「わたしはあなたがたに平安を残します。わたしはあなたがたに私の平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません！」これがイエス様の愛だと思います。毎日、み言葉に接するという日課を欠かさずに続けて来たおかげで今、このように私は弱い者から強い者へと変えられていっています。これからも欠かさず、毎日み言葉に接する生活を送っていきたいと思います。

また、教会で母のために祈っていただければ幸いです。母から最後に連絡があったのは、先月の 20 日ぐらいで、1 月 25 日から検査のため入院しますと言われただけで、病名も期間についても知らせてくれませんでした。こちらからその後いかがですか、退院されたら知らせてほしいと連絡しても未だに返事がありません。母の健康のためにお祈りください。

皆様に神様の降り注ぐ祝福が与えられることを心からお祈りしています。

2018 年 2 月 14 日